

# 明治時代の産業.1

名前

解答

解答

問1 次の文章の括弧に入る語句を枠内から選べ。

1880年代後半から、日本でも紡績・製糸などの( A )工業を中心に( B )革命が発達した。綿糸をつくる紡績業では、日清戦争後に朝鮮や( C )への輸出量が増え、輸出量が輸入量を上回った。生糸をつくる製糸業は、主に( D )への輸出によって発展し、日露戦争後には、世界最大の輸出国になった。

重 軽 産業 辛亥 アメリカ 中国 重化学

( A:軽 ) ( B:産業 )  
( C:中国 ) ( D:アメリカ )

問2 日清戦争の後、筑豊地域に建設された製鉄所は何か。 ( 八幡製鉄所 )

問3 1889年に全線開通した鉄道は何か。 ( 東海道線 )

問4 三井・三菱・住友・安田などの資本家は、金融・貿易・鉱業といった様々な業種に進出して、何と呼ばれるようになったか。 ( 財閥 )

問5 12歳未満の子どもの就業を禁止し、労働時間を制限することなどを定めた法律を何というか。 ( 工場法 )

問6 紡績業や製糸業の労働者は、女子と男子のどちらが多かったか。 ( 女子 )

問7 日清戦争後には、労働条件についての交渉を行う団体組織が結成され始めた。この団体組織は何か。 ( 労働組合 )

問8 産業が発展する一方で、公害問題が起こった。鉱毒の流出が問題となった栃木県の銅山の名称を答えよ。 ( 足尾銅山 )

問9 日本で最初の社会主義政党である社会民主党を結成した人物は誰か。 ( 幸徳秋水 )

問10 次の文章のうち正しいものには○を、誤っているものには×を記入せよ。

(1) 明治政府が民間の模範となるように建設した工場を官営模範工場という。 ( ○ )

(2) 明治時代には、官営だけでなく、民営の鉄道もつくられた。 ( ○ )

(3) 明治時代には、全体的に人々の生活は豊かになっていったが、生活の苦しさから土地を手放して小作人になる人もいた。 ( ○ )

